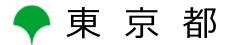
# 東京都の財政

令和2(2020)年4月



### 凡例

- ※ 本書における令和2年度の予算額は、当初予算の数値です。
- ※ 計数については、原則として、表示単位未満を四捨五入し端数調整をしていないため、 合計などと一致しない場合があります。

## 目 次

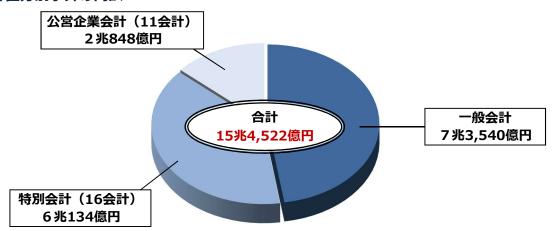
第1章	都財政のあらまし
	都の予算規模
	一般会計予算規模 ·····
	歳入の状況
	都税収入 ······
	歳出の状況(目的別分類)
	歳出の状況(性質別分類)
	一般歳出
第2章	将来を見据えた財政運営
	社会構造の変化に適応し得る健全な財政運営の推進10
	事業評価の取組11
	基金12
	都債
	地方法人課税の見直しについて15
第3章	令和2年度予算の概要
	令和2年度予算のポイント18
	令和2年度予算の主要事項20
	「『未来の東京』戦略ビジョン」の戦略の核となる3つのС2
	東京 2020 大会の成功に向けた取組22
	目的別内訳24
	都民・大学研究者・職員による事業提案制度25
第4章	決算分析
	実質収支29
	経常収支比率30
	健全化判断比率等3
	新たな公会計手法の活用32
参 考	
	予算成立までの流れ36
	財政広報の紹介37
	東京都財政年表(一般会計)38

## 第1章 都財政のあらまし

## 都の予算規模

- 令和 2 年度の一般会計の予算規模は、7兆3,540億円となりました。
- 一般会計に、特別会計と公営企業会計を合わせた都全体の予算規模は、15兆4,522億円(単純合計)となり、ノルウェーなどの国家予算とほぼ同じ予算規模です。

#### ■ 会計区分別予算の内訳



#### ◆ 特別会計・公営企業会計

• 特別会計とは、特定の事業や資金などについて、その収支を明確にするために一般会計と分けて経理 するための会計です。一般家庭に例えるならば、光熱水費やローンの返済などを、別の財布で管理す るようなものです。

都では、特別区財政調整会計、地方消費税清算会計など16会計を設置しています。

• 公営企業会計とは、水道、電車、バスなど、独立採算制の公営企業の収支を経理するための会計です。 都では、水道事業会計、高速電車事業会計など11会計を設置しています。

#### ◆ 他の国の予算規模との比較

ノルウェー 16兆4,656億円(2019年) スウェーデン 12兆1,984億円(2020年)

\* 為替レートは「ブルームバーグ エル・ピー ホームページ 掲載、令和2年2月7日付け実勢数値」によります。



#### ◆ 参考

<国及び地方財政との比較>

国の予算規模:102兆6,580億円

地方財政の規模: 90兆7,397億円

\* 国の予算規模及び地方財政の規模(地方財政計画) ともに令和2年度当初の数値です。 <GDP(名目)の比較>

国内:570.2兆円程度(令和2年度見通し)

➤ 世界第3位

都内:106.6兆円(平成30年度速報)

➤ 世界第17位程度に相当

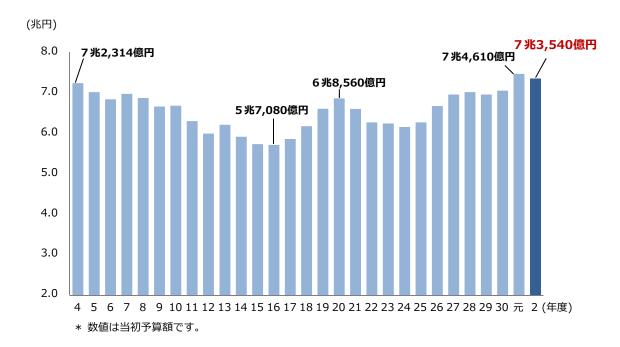
\* 各順位は、平成30年(暦年)における、各国の

数値と比較したものです。

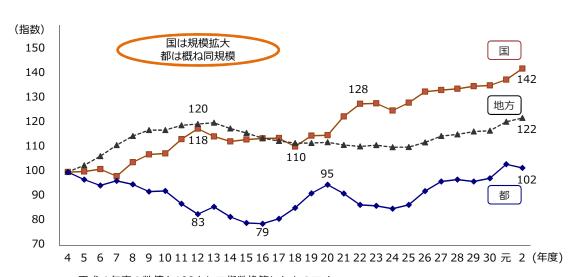
## 一般会計予算規模

● 令和2年度の一般会計の予算規模は、前年度に比べて1.4%減の7兆3,540億円で、 過去最大だった昨年度に次ぐ予算規模となりました。

#### ■ 都の一般会計予算規模の推移



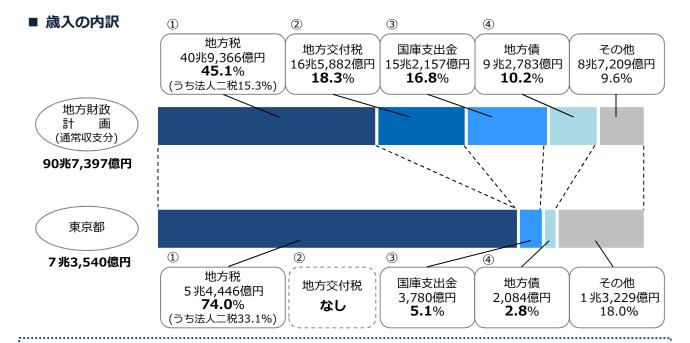
#### ■ 国・地方との比較



- \* 平成4年度の数値を100として指数換算したものです。
- \* 国及び都は当初予算(一般会計)であり、地方は地方財政計画(通常収支分)です。

## 歳入の状況

- 歳入構造について、都と地方財政計画とを比較すると、都には以下のような特徴があります。
  - ① 地方税の割合が高い
  - ② 地方交付税が交付されていない
  - ③ 国庫支出金の割合が低い
  - ④ 地方債の割合が低い
- 都の歳入の**約7割は地方税(都税)**が占めており、中でも、景気変動の影響を受けや すい法人二税の占める割合が高いことから、都財政は元来不安定な構造にあります。
- また、都は、都道府県で唯一、地方交付税の交付を受けておらず、他の自治体に比べてより自立した財政運営を行う必要性が高いといえます。



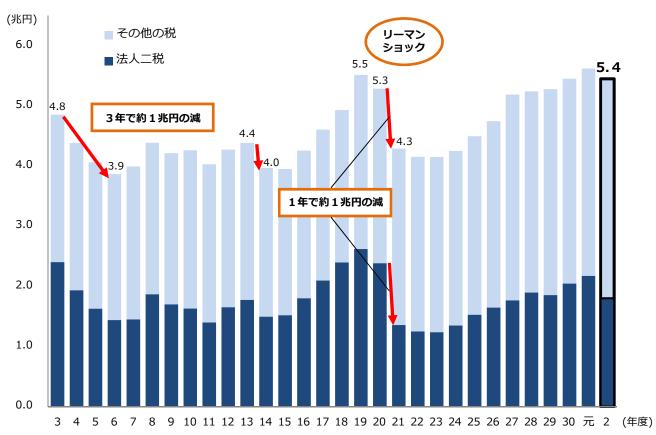
#### ◆ 地方交付税制度と東京都

- 地方交付税は、自治体間の財源の不均衡を調整し、どの地域に暮らす住民にも一定の行政サービスを 提供できるよう財源を保障するため、所得税、法人税、酒税、消費税の一定割合と地方法人税の全額 を原資として、自治体に使途を制限せず交付されるものです。
- 都は地方交付税の不交付団体であり、令和元年度の普通交付税算定では、特別区分を含む財源超過額が1兆3,292億円となっています。しかし、この財源超過額は、交付税を配分するための理論値であり、昼間流入人口の算定不足に見られるように、東京都の膨大な財政需要を捉えきれていないなど、都財政の実態を表すものではありません。
- このことから、財源超過額をもって都に財源余剰があるとは言えません。

## 都税収入

- 令和2年度予算では、都税収入は、繰入地方消費税が税率引上げ等に伴い増となる一方、地方法人課税の見直しの影響等による法人二税の減などにより、前年度に比べて 585億円、1.1%減の5兆4,446億円となりました。
- 都税収入は、リーマンショック時には急激な景気の悪化などの影響により、1年で約 1兆円の大幅な減収に見舞われただけでなく、減収局面が数年間にわたり続くなど、 不安定な形で増減を繰り返しており、今後の税収動向を慎重に見極めながら、適切な 財政運営に努めていく必要があります。

#### ■ 都税収入の推移

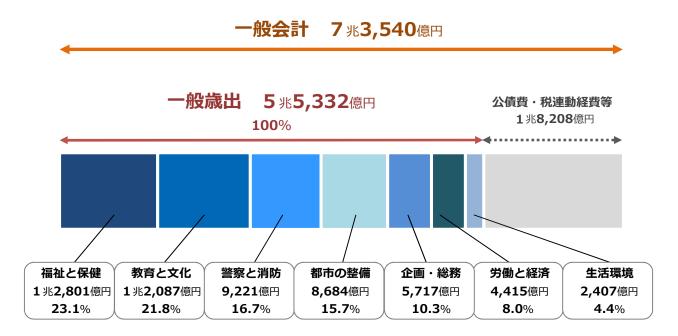


\* 平成30年度までは決算額、令和元年度は最終補正後予算額、2年度は当初予算額です。

## 歳出の状況(目的別分類)

- 令和 2 年度予算の歳出総額 7 兆3,540億円のうち、政策的経費である一般歳出は **5 兆 5,332億円**です。
- 一般歳出とは、歳出総額から、過去の借入の返済に充てる経費(公債費)や、法令の 定めにより税収の一定割合を区市町村に対して交付する経費(税連動経費)などを除 いた部分です。
- 一般歳出を行政目的に応じて区分すると、最も多く予算が配分されているのは「福祉と保健」で、以下「教育と文化」、「警察と消防」、「都市の整備」と続いています。

#### ■ 歳出の目的別分類



\* 「企画・総務」には、共同実施事業等に係る東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(以下「組織委員会」 という。)への負担金等(2,596億円)を含みます。

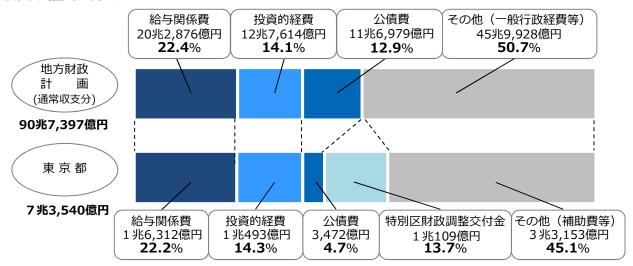
#### ◆ 「福祉と保健」の伸びについて

・ 少子高齢化の進行を背景として、「福祉と保健」は、平成17年度以降16年連続で増加しており、令和2年度は1兆2,801億円と、過去最大の規模となっています。

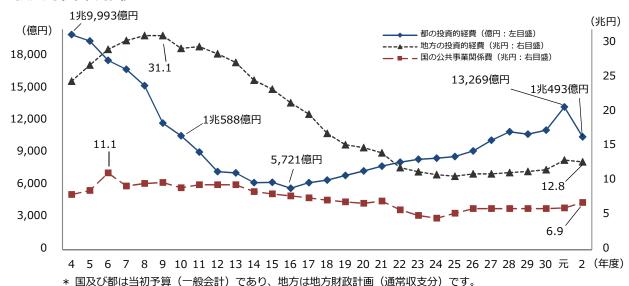
## 歳出の状況(性質別分類)

- 令和2年度予算の性質別内訳を都と地方財政計画とで比較すると、都は公債費の割合が低いことが分かります。
  - このほか、都の特徴として、地方自治法などに基づく特別区財政調整交付金(1兆109億円)が計上されています。
- 投資的経費は、東京2020大会開催に向けた新規恒久施設の整備や体育施設の大規模 改修などの減により、前年度に比べて**20.9%減**の**1兆493億円**となりました。

#### ■ 歳出の性質別分類



#### ■ 投資的経費の推移

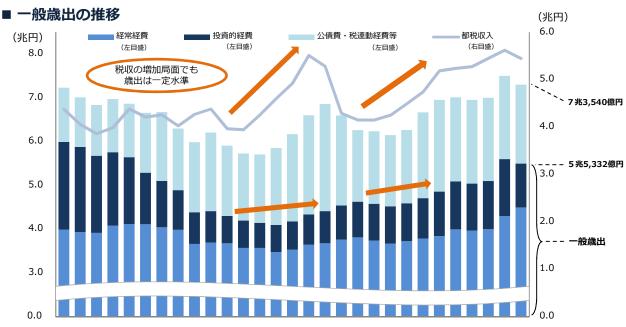


#### ◆ 「投資的経費」について

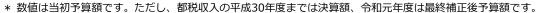
• 「投資的経費」とは、道路の整備費や学校の建設費など社会資本の形成に係る経費です。

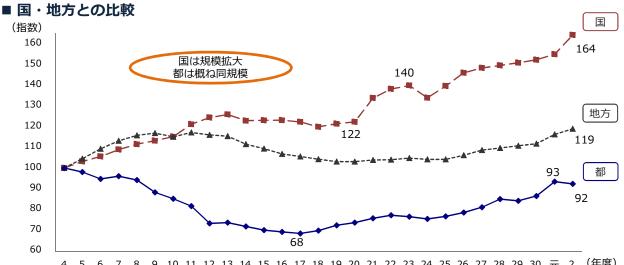
## ·般歳出

- ▶ 都は財政再建期を通じて、内部努力や施策の見直し・再構築などにより徹底した事業 の見直しを行ってきました。また、税収が増加していく局面においても、必要な施策 は着実に実施しながら、一般歳出を過度に拡大させることなく、基金を積み立て、適 切に都債を活用するなど、財政基盤を強化してきました。
- 令和2年度予算の一般歳出は、東京2020大会の確実な成功に向けた取組や東京が成 **長を生み続ける成熟都市として進化を図るための施策**を積極的に進めていく一方で、 東京2020大会の開催準備に係る経費の規模が、令和元年度にピークであったことな どにより、前年度に比べて1.2%減の5兆5,332億円となりました。



4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 元 2 (年度)





- 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 元 2 (年度)
- \* 平成4年度の数値を100として指数換算したものです。
- \* 国及び都は当初予算(一般会計)であり、地方は地方財政計画(通常収支分)です。

## 第2章 将来を見据えた財政運営

## 社会構造の変化に適応し得る健全な財政運営の推進

- 令和2年度予算では、都税収入は地方法人課税の見直しの影響拡大などにより、前年度と 比べて約600億円の減となりました。
- こうした中においても、東京2020大会の確実な成功に向けた取組に加え、「『未来の東京』戦略ビジョン」の実現に向けた政策展開を進めるべく、強固で弾力的な財政基盤の堅持に努めました。
- 具体的には、**事業評価**について、終期が到来する事業の事後検証の徹底や事業の見直し・ 再構築を実施するとともに、**ICT関係評価を新たに導入**するなど、一つひとつの事業の 効率性・実効性の向上に向けて、取組の更なる強化を図りました。
- 基金については、東京2020大会の確実な成功に向けた取組などを着実に進めるための財源として、積極的に活用するとともに、「『未来の東京』戦略ビジョン」で描く新たな政策の財源として、令和元年度最終補正予算で新たに基金を創設するなど、将来を見据えた備えに力を入れています。
- **都債**については、将来世代の負担を考慮して**発行額を抑制**し、将来に向けた発行余力を培 うなど、今後の財政運営への備えを講じています。

#### 将来を見据えた財政運営

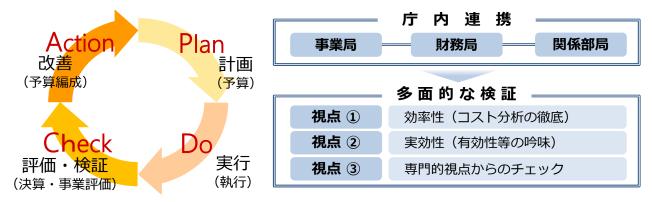
- 都税収入は、景気動向に左右されやすい**不安定な構造**にあります。また、令和元年度税制 改正において、地方法人課税の新たな偏在是正措置が講じられ、令和3年度以降、都財政 への影響額は、偏在是正措置が初めて講じられた平成20年度税制改正前と比べて、年間 9.663億円の減収となる見込みです。
- こうした中、都においては、人口減少・少子高齢化への対応や大規模災害への備えなど、 **膨大な財政需要に留意**しつつ、直面する課題の解決に向けた施策を着実に進めていかなければなりません。
- あわせて、「『未来の東京』戦略ビジョン」に掲げる2040年代の東京の姿を目指し、「未来への投資」を積極的に行うことにより、成長が財源を生み、更なる政策へと繋がる 好循環を生み出していくことが重要です。
- このため、都政改革を更に進め、ワイズ・スペンディング(賢い支出)の視点により無駄の排除を徹底するなど、財政体質を更に強固で弾力的なものへと進化させ、社会構造の変化に適応し得る**健全な財政運営**を行っていく必要があります。



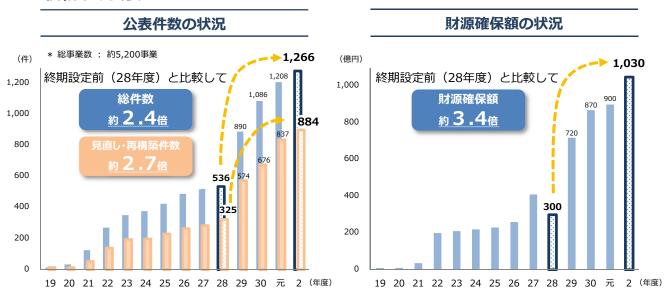
2020年の先を見据え、更に強固で弾力的な財政基盤を構築していくことが必要

## 事業評価の取組

- 限られた財源の中で都政の諸課題に的確に対応していくため、都は予算編成の一環として事業評価を実施し、一つひとつの事業の効率性・実効性を向上させる継続的な取組(マネジメントサイクル)を行っています。
- 事業評価は、関係部局と連携した専門的視点からのチェック、新たな公会計手法の活用や終期を迎える事業に対する事後検証の徹底などを通じ、予算編成の過程で多面的な検証を行う取組として着実にその実績を積み重ねてきました。
- 令和2年度予算では、新たに**ICT関係評価**を導入するなど、事業の効率性や実効性 の向上に向けて、これまで以上に創意工夫を凝らして事業評価に取り組みました。
- こうした取組により、**1,266件**の評価結果を公表し、評価の結果を通じて、**約1,030 億円**の財源確保につなげるとともに、施策の新陳代謝を促進することで、**884件**の見直し・再構築を行い、**420件**の新規事業を構築しました。
- 事業評価の流れ ~ 事業局・財務局・関係部局が連携した通年サイクルによる改善システム ~



#### ■ 評価結果の公表

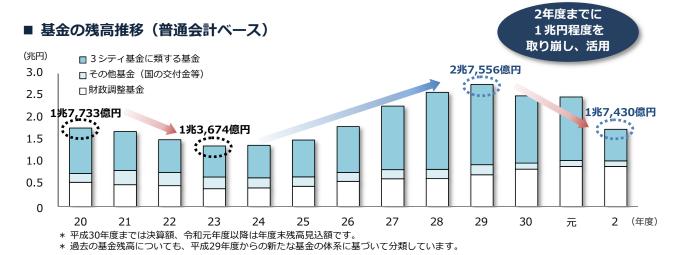


### 基金

- 東京2020大会の開催を見据え、事業評価による**不断の施策の見直しを推進して生み出した財源を**、これまで**計画的に基金へ積み立て**、財政対応力を培ってきました。
- 令和2年度予算においては、東京2020大会を確実な成功へと導くための取組や3つのシティを実現するための施策などに必要な財源として、3つのシティ実現に向けた基金を7,332億円取り崩します。
- また、令和元年度最終補正予算では、新たな基金の創設や既存基金への積立を行いました。
- ●「『未来の東京』戦略ビジョン」で描く新たな政策を積極的に後押しするための必要な 財源として、基金を活用していきます。

### 3つのシティ実現に向けた基金の活用

• 東京2020大会を確実な成功へと導くための取組や3つのシティを実現するための戦略的な施 策に向けて、3つのシティ実現に向けた基金を、令和2年度までに**1兆円程度取り崩し**ます。



## 基金への積立(令和元年度最終補正予算)

• **令和元年度最終補正予算**において、平成30年度決算剰余金及び都税収入の伸びなどにより生まれた財源を、将来の財政需要への備えとして積み立てるとともに、新たに3基金を創設し、1,100億円の積立を行いました。

新たな基金の創設	積立額
スマート東京推進基金	500億円
ゼロエミッション東京推進基金	300億円
緑あふれる東京基金	300億円

既存基金の積立	積立額
社会資本等整備基金	1,800億円
防災街づくり基金	1,000億円
福祉先進都市実現基金	600億円

## 基金残高と取崩状況(普通会計ベース)

- 令和2年度予算では、東京2020大会の開催準備と3つのシティを実現するための施策に必要な 財源として、3つのシティ実現に向けた基金を7,332億円取り崩します。
- また、基金残高は、令和2年度末で1兆7,430億円となっています。
- 3つのシティ実現に向けた基金

	令 和 元	年 度	令 和
区分	当 初 見 込 残 高	令和2年3月31日 専決後残高	取 崩
セーフ シティ	1,344億円	2,522億円	▲ 1,149億
防災街づくり基金	973億円	2,149億円	▲ 986億
無電柱化推進基金	371億円	373億円	▲ 163億
スマート シティ	4,458億円	6,986億円	▲ 2,687億
社会資本等整備基金	3,248億円	5,122億円	▲ 2,547億
芸術文化振興基金	26億円	26億円	▲ 26億
おもてなし・観光基金	46億円	46億円	▲ 46億
鉄道新線建設等準備基金	691億円	691億円	▲ 1億
スマート東京推進基金【新設】	_	500億円	▲ 59億
ゼロエミッション東京推進基金 【新設】	_	300億円	▲ 7億
緑あふれる東京基金【新設】	_	300億円	
ダイバーシティ	1,492億円	2,078億円	▲ 886億
福祉・健康安心基金	37億円	40億円	▲ 40億
人に優しく快適な街づくり基金	160億円	126億円	▲ 126億
福祉先進都市実現基金	1,254億円	1,866億円	▲ 673億
障害者スポーツ振興基金	41億円	46億円	▲ 46億
東京オリンピック ・パラリンピック開催準備基金	2,361億円	2,784億円	▲ 2,610億
うちパラリンピック経費国費分	196億円	207億円	▲ 207億
うちパラリンピック経費都費分	196億円	207億円	▲ 207億
小 計	9,654億円	1兆4,369億円	▲ 7,332億

令	和	2		年	度	<b>→</b>			+\
取	崩	額	年残	度	末 高	充	当	事	な 業
•	1,149億	門		1,373	億円			_	
•	986億	門		1,163	億円			不燃化 空調設	
•	163億	門		210	億円	都道	道の無	電柱化	;
•	2,687億	門		4,405	億円				
<b>A</b>	2,547億	ឤ		2,611	億円	イン	ンフラ	整備	
•	26億	ឤ			_	文化	ヒプロ	グラム	事業
<b>A</b>	46億	門			_			のバリ 援事業	
•	1億	門		760	億円	61	各線に	係る事	業等
•	59億円			4414	億円		新的事 資支援	業展開 事業	設備
•	7億円			293	億円	ZE	V導入·	促進事	業
	_			300	億円		予和 3 予定)	年度以	降充
•	886億	門		1,193	億円				
<b>A</b>	40億	門			-	新型対象		フルエ	ンザ
•	126億円		_		-	(₽		高機能	
<b>A</b>	673億	ឤ		1,193	億円		計士等 ソプ補	キャリ 助	ア
<b>A</b>	46億	門			-		雪者ス 数促進	ポーツ 事業	'
•	2,610億	門		174億円				事業等 の整備	
<b>A</b>	207億	門			0				
<b>A</b>	207億	訊			0				
•	7,332億	門		7,145	億円				

#### ■ 国の交付金等により積み立てた基金

その他基金 1,316億円 1,333億円 269億円 1,252億円

#### ■ 財源として活用可能な基金

財正	女調整基金	8,470億円	9,032億円
	合 計	1兆9,439億円	2兆4,733億円
	うち一般会計	1兆9,078億円	2 兆4,373億円
	うち特別会計	361億円	361億円

9,034億円		
1兆7,430億円	7,601億円	
1兆7,109億円	7,561億円	
321億円	40億円	
 -	•	

0.024度田

- \* 令和2年度の積立額を表示していないため、表内の計数の合計は一致しません。
- 表内の計数の合計は一致しません。
- ネスマート東京推進基金の新設には、イノベーション創出基金を全額(192億円)取り崩し、充当しました。
  \* ゼロエミッション東京推進基金の新設には、水素社会・スマートエネルギー都市づくり推進基金を全額(255億円)取り崩し、充当しました。
  \* 令和元年度は、最終補正のほか、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う補正予算において財政調整基金64億円及び中小企業制度融資にかかる
- 補正予算(専決処分)において財政調整基金250億円をそれぞれ取り崩しました。
- \* 令和2年度は、当初予算のほか、都区財政調整協議に伴う補正予算において財政調整基金18億円、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う補正 予算において財政調整基金333億円及び福祉先進都市実現基金1億円をそれぞれ取り崩しました。

## 都債

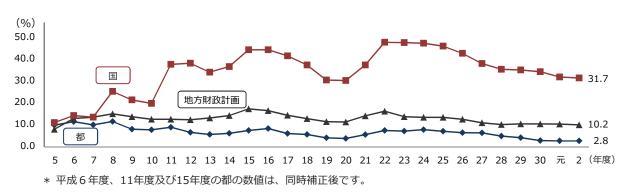
- 令和2年度予算では、将来世代の負担を考慮して都債の発行額を抑制し、将来に向けての発行余力を培いました。その結果、都債は前年度に比べて12億円、0.6%減の2,084億円となっています。
- 起債依存度は2.8%と、国や地方と比べても健全な状態にあります。

#### ■ 都債発行額と都債残高の推移



- \* 都債発行額は、平成30年度までは決算額、令和元年度以降は当初予算額です。
- \* 都債残高は、平成30年度までは決算額、令和元年度は最終補正後予算額、2年度は当初予算額です。

#### ■ 起債依存度の推移(当初予算)



#### ◆ 都債の効用

- ・都債には、世代間の負担の均衡を図るという重要な役割があります。例えば、道路や建物の建設などには、一時期に多額の事業費がかかりますが、一方で、その建設によって生じる便益は将来にわたって及ぶことになります。そこで都債によって事業費を賄い、それを償還していく際に、将来の住民の税を充当することで、受益と負担の公平を図っています。
- このように、都債は発行しなければよいというものではなく、将来の財政負担とのバランスが大切です。

## 地方法人課税の見直しについて

- 地方税財政制度において、これまで、地方法人課税の見直し(いわゆる「偏在是正措置」)が繰り返されており、令和元年度税制改正では、「新たな措置」が講じられました。
- 令和2年度における都財政への影響額は、「偏在是正措置」が初めて講じられた平成20年度税制改正前と比べて、▲8,386億円となっています。このうち、令和元年度税制改正で講じられた「新たな措置」による影響額は、▲2,399億円となります。
- 都は、地方が果たすべき役割と権限に見合った財源を一体として確保できるよう、地 方税財政制度の本来あるべき姿を目指し、今後とも、国に強く働きかけていきます。

#### ■ 地方法人課税の「偏在是正措置」による影響額の推移

		平成20年度以前	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (影響が平年度化)
	① 法人事業税の 暫定措置	_	▲ 2,781 億円	▲ 2,781 億円	▲ 2,124 億円	-
法	② 法人住民税の 交付税原資化	_	▲ 2,239 億円	▲ 2,239 億円	▲ 3,834 億円	▲ 5,238 億円
人	③ 法人事業税 交付金	_	_	_	▲ 29 億円	▲ 134 億円
税 等	④「新たな措置」	_	_	_	▲ 2,399 億円	▲ 4,290 億円
	計	_	▲ 5,021 億円	▲ 5,021 億円	▲ 8,386 億円	▲ 9,663 億円
	うち 法人二税 地方譲与税		▲ 7,566 億円 + 2,546 億円	▲ 7,566 億円 + 2,546 億円	▲ 8,880 億円 + 494 億円	▲ 1兆123 億円 + 460 億円

<sup>\*</sup> 影響額は、令和2年度当初予算ベースにより試算

#### (参考 地方法人課税の「偏在是正措置」の概要)

平成20年度 税制改正	法人事業税の暫定措置	・法人事業税(所得割・収入割)の一部を国税化(地方法人特別税)し、地方法人特別譲与税として、都道府県に配分
平成26年度 税制改正	法人住民税の交付税原資化等	・法人住民税法人税割の一部を国税化(地方法人税)し、地方交付税として、地方自治体に配分 * 都は、地方交付税の不交付団体 ・法人事業税の暫定措置について、1/3の規模を法人事業税に 復元
平成28年度 税制改正	交付税原資化の拡大等	<ul><li>・法人住民税の交付税原資化を拡大し、地方交付税として地方自 治体に配分</li><li>・法人事業税の暫定措置を廃止し、法人事業税に復元</li><li>・法人事業税交付金を創設</li></ul>
令和元年度 税制改正	「新たな措置」	・法人事業税(所得割・収入割)の一部を国税化(特別法人事業税)し、特別法人事業譲与税として都道府県に配分。ただし、 地方交付税の不交付団体に対して、最大75%を譲与額から控 除する譲与制限あり

## 第3章 令和2年度予算の概要

## 令和2年度予算のポイント

## 予算編成方針

令和2年度予算は、



「東京2020大会を確実に成功させるとともに、 『成長』と『成熟』が両立した、輝ける『未来の東京』を 創る予算」と位置付け、次の点を基本に編成しました。



\*メリーちゃん (東京都財務局公式キャラクター)

\*ハリーくん (東京都財務局公式キャラクター)

- 1 東京2020大会を確実な成功へと導き、次世代へと継承するレガシーを創り上げること
- 都政が直面する諸課題に迅速かつ的確に対応するとともに、Society 5.0の実現に向けた施策など、東京が成長を生み続ける成熟都市として進化を図るための取組を積極果敢に進めること
- 3 将来にわたる施策展開を支えるため、都政改革を更に進め、ワイズ・スペンディング (賢い支出)の視点により無駄の排除を徹底し、財政基盤をより強固なものとすること
- ◆ 令和2年度予算フレーム等の概要

( )内は元年度対比



#### 一般会計歳出総額

7 兆 3,540億円

(▲1,070億円、▲1.4%)

一般会計の予算規模は、東京2020大会を確実に成功させるとともに、東京が成長を生み続ける成熟都市として進化を図るための取組に重点的に予算配分したことなどにより、過去最大となった昨年度(7兆4,610億円)に次ぐ予算規模となりました。



#### 一般歳出(政策的経費)

5 兆 5,332 億円

(▲647億円、▲1.2%)

一般歳出は、東京2020大会開催に向けた新規恒久施設の整備や体育施設の大規模改修 などの減により、前年度に比べて647億円の減となりました。



### 税収

5 兆 4,446 億円

(▲585億円、▲1.1%)

都税収入は、地方消費税率引上げの影響が増要因となる一方、地方法人課税の見直しの 影響等による法人二税の減などにより、約600億円の減少となりました。



## 事業評価の推進

√ 公表件数 1,266件

(+58件)

✓ 財源確保額 1,030億円

(+130億円)

- 施策の不断の見直しや、無駄の排除の徹底により、過去最高となる1,266件の評価結果を公表し、評価の 結果を通じて、約1,030億円の財源を確保しました。
- 確保した財源の活用などにより、420件の新規事業を 構築しました。





### 基金残高

1 兆 7,981億円

(▲7,322億円、▲28.9%)

\* 財政調整基金等を含む

- 東京2020大会の確実な成功に向けた取組などを着実 に進めるため、3つのシティ実現に向けた基金を積極 的に活用します。
- 今後は、将来の財政需要を見据え、基金残高を確保するとともに、「『未来の東京』戦略ビジョン」が描く 新たな政策を積極的に後押しするために活用していきます。



元 2 (年度)

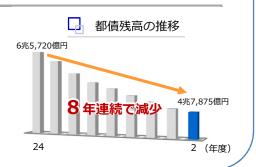


### 都債残高

4 兆 7,875億円

(▲835億円、▲1.7%)

- 今後の膨大な財政需要を見据え、将来世代の負担を 考慮して都債の発行額を抑制し、将来に向けての発 行余力を培いました。
- 都債残高は8年連続の減少となっています。



## 令和2年度予算の主要事項

#### I 誰もがいきいきと活躍できる都市

	<del>- 3</del>	<b>算額</b>
子供にやさしい社会の実現	<b>2,490</b> 億円	(+288億円)
新しい時代を切り拓く人材の育成	<b>1,152</b> 億円	(+253億円)
世界に誇る長寿社会の実現	<b>702</b> 億円	(+1億円)
誰もが輝き、活躍できる社会の実現	302億円	(+48億円)
多様性を尊重する社会の実現	329億円	(+37億円)
居場所の創出や地域コミュニティの活性化	20億円	(+2億円)



#### Ⅱ 安全安心で住みやすい都市

	予算額
災害の脅威から都民を守るまちづくり	<b>2,218</b> 億円(+47億円)
暮らしの安全・安心の確保	<b>417</b> 億円(+41億円)
都市機能の更なる強化	3,636億円(▲28億円)



### Ⅲ 日本の発展を牽引し世界の中で輝く東京

予算額	
世界経済を牽引する都市の実現	<b>294</b> 億円(+73億円)
中小企業・地域産業の支援	<b>2,959</b> 億円(+9億円)



#### IV 「スマート東京」の実現

	予算額
「電波の道」で「つながる東京」	<b>29</b> 億円(+26億円)
公共施設や都民サービスのデジタルシフト	<b>110</b> 億円(+96億円)
都庁のデジタルシフト	<b>19</b> 億円(+17億円)



#### V 美しく、魅力あふれる都市

	予算額	
ゼロエミッション東京の実現	<b>659</b> 億円(+218億円)	
水と緑あふれる都市環境の形成	<b>87</b> 億円(+28億円)	
魅力にあふれる観光都市の実現	239億円(+42億円)	



#### VI 史上最高のオリンピック・パラリンピックの開催とレガシーの創出

予算額史上最高のオリンピック・パラリンピックの開催とレガシーの創出3,262億円 (+605億円)



#### Ⅵ 多摩・島しょの振興

	予算額
多摩・島しょの振興	<b>2,409</b> 億円(+78億円)



## 「『未来の東京』戦略ビジョン」の戦略の核となる3つのC

- 東京都では、令和元年12月に、2040年代に目指す東京の姿「ビジョン」とその実現のために2030年に向けて取り組むべき「戦略」を示した「『未来の東京』戦略ビジョン」を策定しました。戦略ビジョンでは、政策面からの視点である3C(Children、Chōju、Community)を、戦略の核に据えています。
- 時代を切り拓くカギは「人」です。「子供が社会で大切にされ、笑顔で伸びる・育つ」、「長寿の方々が経験を活かし、いきいきと活躍する」、「女性、障害者、外国人を問わず、一人ひとりが自らの意思で未来を切り拓く」、このような「人が輝く」東京を創り上げるための取組を進めていきます。

#### Children ~ 未来を担う子供を育む ~

● 子供や子育て世代を取り巻く 課題は複雑化・多様化してい ます。未来を担う子供を育み、 明るい未来を紡いでいくため の施策を積極的に展開してい きます。

#### 令和2年度の取組事例

• とうきょうママパパ応援事業 27億円

TOKYOスマート・スクール・プロジェクト 57億円

• ひとり親家庭支援センター(多摩拠点)の設置 0.4億円

## Chōju ~ 人生100年時代を元気に ~

日本は世界有数の長寿国です。 これを誇りとして、人生100 年時代を誰もが生きがいを持ち、元気に活躍できる東京を 実現するための施策を進めていきます。

#### 令和2年度の取組事例

● A I 等を活用した認知症研究事業 10億円

高齢者施設等のBCP策定支援事業 1億円

● 東京都立大学プレミアム・カレッジの運営等 2億円

## Community ~ みんなが集い、暮らす ~

人と人がつながりを保ち、支 え合いながら暮らしていくこ とができるよう、様々な形で の「居場所」の創出や、地域 コミュニティの活性化に向け た取組を推進していきます。

#### 令和2年度の取組事例

- コミュニティの活性化を支援する新たな財団の設立 2億円
- 地域の底力発展事業助成 3億円
- シェア居住事業 7百万円

## 東京2020大会の成功に向けた取組

- 東京2020大会の開催に当たっては、「将来に負担を残さない」という考え方に基づき、 都債の発行を抑制し、これまで着実に積み立ててきた基金の積極的な活用等により財 源確保を図り、大会の成功に向けた取組を進めました。
- 東京都の負担額(見込み)

大会経費:1兆3,500億円

大会関連経費:都負担額 7,766億円

組織委員会 6,025億円 \* (大会オペレーション等) 東京都 5,975億円 \* (恒久施設の整備等)

国 **1,500**億円 (新国立競技場の整備等)

〇 大会に密接に関わる事業

○ 大会の成功を支える関連事業

#### 東京都の負担額は、合計で約1兆3,700億円

- \* 競歩経費25億円を都から組織委員会に組み替えています。
- ・ 令和2年度は、恒久施設の整備が前年度当初予算と比較して1,193億円減少するなど、八一ド整備が減少する一方、大会本番を直前に控え、輸送経費が前年度当初予算と比較して134億円増加するなど、ソフト系の経費が増加しています。

<令和2年度当初予算と元年度当初予算の比較> (単位:億円)

	区分	令和2年度	令和元年度	増▲減
大	会経費	2,630	2,820	▲190
	大会経費(恒久施設の整備)	34	1,227	▲1,193
	大会経費 (共同実施事業等ほか)	2,596	1,593	1,003

大会関連経費	2,079	2,610	<b>▲</b> 531
	,	,	

\* 大会経費(共同実施事業等ほか)には、パラリンピックに係る国負担分(財源は全額国庫支出金)を含んでいます。

#### ■ 大会経費

- 大会経費は、恒久施設の整備やエネルギーなどの「会場関係」の経費、輸送やセキュリティなどの「大会 関係」の経費及び自然災害による突発的な事項等が生じた場合に備える「緊急対応費」を計上しています。
- 昨年12月に東京2020大会の組織委員会予算V4が発表され、東京都負担は、東京2020大会の組織委員会 予算V3の見込6,000億円から**5,975億円**となりました。

<大会経費の内訳> (単位:億円)

区分	事業費	各年度内訳					
2: //	于 <b>未</b> 兵	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
会場関係	4,964	700	429	2,156	1,679		
● <b>恒久施設の整備</b> 東京アクアティクスセンター、有明アリーナの整備 など	2,260	653	292	1,223	92		
● <b>仮設等</b> → 都内・都外自治体所有施設における仮設整備 など	2,024	44	97	718	1,165		
● エネルギー	330	1	26	116	187		
● テクノロジー	350	2	14	99	235		
大会関係	911	0	42	166	703		
●輸送	301	0	7	38	256		
<ul><li>セキュリティ</li></ul>	517	0	34	115	368		
<ul><li>オペレーション等</li></ul>	93	0	1	13	79		
緊急対応費	100	_	_	_	100		
合計	5,975	700	471	2,322	2,482		

- \* 平成30年度までは決算額、令和元年度は最終補正後予算額、2年度は当初予算額です。
- \* 令和2年度の内訳には、大会後の施設改修等、3年度以降の経費を含んでいます。

#### ■ 大会関連経費

- 大会関連経費は、既存体育施設の改修などの「大会に密接に関わる事業」の経費と、都市インフラの整備などの「大会の成功を支える関連事業」の経費を計上しています。
- 令和2年度までの合計は、経費精査などにより、当初見込8,100億円から7,766億円となりました。

<大会関連経費の内訳> (単位:億円)

区分	事業費	各年度内訳				
	7.A.A.	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
大会に密接に関わる事業	4,580	820	928	1,394	1,437	
<ul> <li>既存体育施設の改修、晴海地区基盤整備等</li> <li>東京体育館などの改修</li> <li>選手村整備に伴う晴海地区の基盤整備事業</li> <li>競技会場やライブサイト会場となる公園の整備など</li> </ul>	880	176	142	405	158	
<ul> <li>● 円滑な都市運営に資する輸送インフラ、 セキュリティ対策</li> <li>&gt; 環状第2号線など骨格幹線道路の整備</li> <li>&gt; 交通需要マネジメント</li> <li>&gt; 競技会場周辺のセキュリティ対策 など</li> </ul>	1,983	366	448	518	651	
<ul> <li>都市のバリアフリー対策、多言語対応等</li> <li>競技会場周辺駅等のエレベーターの設置</li> <li>微細ミストの設置などの暑さ対策</li> <li>道路のバリアフリー化 など</li> </ul>	804	141	183	253	226	
<ul> <li>教育・文化プログラム、都市ボランティアの育成・活用等</li> <li>→ Tokyo Tokyo FESTIVALの推進</li> <li>→ ライブサイトなど大会の気運醸成</li> <li>→ 都市ボランティアの育成 など</li> </ul>	739	90	110	166	373	
<ul> <li>競技力向上施策の推進、障害者スポーツの振興</li> <li>振興</li> <li>アスリートの発掘</li> <li>障害者スポーツセンターの改修</li> <li>障害者スポーツの振興 など</li> </ul>	174	47	45	52	31	
大会の成功を支える関連事業	3,187	623	827	1,095	642	
<ul> <li>● 都市インフラの整備</li> <li>⇒ 無電柱化の推進</li> <li>⇒ 遮熱性舗装など路面の高機能化 など</li> </ul>	2,626	523	730	896	478	
● 安全・安心の確保等  ➢ 都立公園における安全性の向上 など	164	21	21	62	60	
● 観光振興、東京・日本の魅力発信  ▶ 東京の観光PR、全国特産品等の展示紹介 など	334	70	67	96	100	
<ul><li>● スポーツの振興</li><li>▶ スポーツイベント等の開催 など</li></ul>	64	9	9	42	4	
合計	7,766	1,443	1,754	2,489	2,079	

<sup>\*</sup> 平成30年度までは決算額、令和元年度は最終補正後予算額、2年度は当初予算額です。

## 目的別内訳

● 一般歳出は、**限られた財源を重点的・効率的に配分**し、「福祉と保健」をはじめとする各分野で 施策の充実を図り、都民生活の質の向上に努めています。

	I.Z		$\Delta$		令和2年	度	令和元年	芰	抽油布	増減率	
	区		分			構成比		構成比	増減額		
福	祉	٢	保	健	<b>1</b> 兆 <b>2,801</b> 億円	23.1%	<b>1</b> 兆 <b>2,600</b> 億円	22.5%	201億円		1.6%
教	育	٢	文	化	<b>1</b> 兆 <b>2,087</b> 億円	21.8%	<b>1</b> 兆 <b>2,336</b> 億円	22.0%	▲ 249億円	•	2.0%
労	働	٢	経	済	4,415億円	8.0%	4,864億円	8.7%	▲ 450億円	•	9.3%
生	活		環	境	2,407億円	4.4%	2,186億円	3.9%	221億円		10.1%
都	市	の	整	備	8,684億円	15.7%	8,755億円	15.6%	▲ 71億円	•	0.8%
警	察	٢	消	防	9,221億円	16.7%	9,407億円	16.8%	▲ 187億円	•	2.0%
企	画	•	総	務	5,717億円	10.3%	5,829億円	10.4%	▲ 112億円	•	1.9%
	般		歳	出	5兆 5,332億円	100.0%	5兆 5,979億円	100.0%	▲ 647億円	•	1.2%
公		債		費	3,490億円	_	3,668億円	_	▲ 178億円	•	4.9%
税	連重	<b>ታ</b> ጸ	径 費	等	<b>1</b> 兆 <b>4,718</b> 億円	-	1兆 4,963億円	_	▲ 246億円	•	1.6%
	歳		出		<b>7</b> 兆 <b>3,540</b> 億円	_	<b>7</b> 兆 <b>4,610</b> 億円	_	▲ 1,070億円	•	1.4%

<sup>\* 「</sup>企画・総務」には、共同実施事業等に係る東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会への負担金等(2,596億円)を含みます。

## 都民1人当たりの予算

- 令和2年度一般会計当初予算(目的別歳出)を、都民1人当たりの予算に置き換え、平成元年度と比較しました。
- 少子高齢化の進行を背景として、「福祉と保健」が大きく増加する一方、緊急性や必要性を考慮した事業の重点化で、投資的経費を削減したことなどにより「都市の整備」は減少しています。

	分野	令和2年度予算	平成元年度予算
	少子高齢化対策など <b>「福祉と保健」</b> に	91,737円	43,478円
	学校教育の充実など <b>「教育と文化」</b> に	86,622円	84,864円
	産業の活性化など <b>「労働と経済」</b> に	31,636円	27,296円
(C) = 0.0 (P)	廃棄物対策など <b>「生活環境」</b> に	17,252円	38,997円
	道路の整備など <b>「都市の整備」</b> に	62,234円	107,166円
20	警察活動・消防活動など <b>「警察と消防」</b> に	66,079円	55,606円
	職員の研修・福利厚生など <b>「企画・総務」</b> に	40,973円	65,920円
icii	都債の元利償還など <b>「公債費」</b> に	25,014円	22,887円
4	区市町村への交付金など <b>「税連動経費等」</b> に	105,472円	74,746円
	合 計	527,018円	520,960円
	都 税	390,184円	407,293円

- \* 令和2年度の都内総人口は、「東京都の人口(推計)」(東京都総務局)における令和元年12月1日現在です。
- \* 平成元年度の都内総人口は、「東京都の人口(推計)」(東京都総務局)における平成元年12月1日現在です。

## 都民・大学研究者・職員による事業提案制度

● 従来の発想に捉われない新たな視点や、東京に集積されている知を活用し、都政の喫緊の課題を解決することを目的とした制度です。

#### ■ 都民による事業提案制度【令和2年度予算額 1.5億円】

- ・「都民が提案し、都民が選ぶ」ことで、都民の声を直接施策に反映させる仕組みです。
- ・242件の提案から、都民投票を踏まえ、9件の事業を選定しました。

【**予算反映事業一覧**】 (単位:百万円)

1.7. 并及吹手来	93.1 	(+-	<u>т. ロ/л л/</u>
分類	分野	事業名	予算額
	東京の活力を生み出す 人材の育成	若者チャレンジ応援事業	10
	子育て支援	養育費確保支援事業	7
誰もがいきいきと	まちの元気創出、 ボランティアの促進	シェア居住事業	7
活躍できる都市	子育て支援	保育所等における園外活動支援事業	12
	働き方改革	男性の育児と仕事の両立推進事業	24
	高齢化対策	「認知症の人とその家族に優しい街東京」へ向けての学修会	13
	空き家活用	都営住宅の集会所等を活用した「おとな食堂(仮称)」の展開	32
安全安心で 住みやすい都市	防災対策	防災備蓄に向けたW e b サイトの構築	41
美しく、魅力に あふれる都市	エネルギー・ 資源対策、暑さ対策	使い捨てプラスチック製品を代替する 持続可能なバイオマス資源普及啓発事業	5
		合 計	152

#### ■ 大学研究者による事業提案制度 【新規採択分 令和 2 年度予算額 1.2億円、総事業費 8.9億円】

- ・研究者からの提案を基に、**研究者・大学と連携して事業を創出**する仕組みです。
- ・61件の提案から、有識者等による審査と都民投票を踏まえ、6件の事業を選定しました。

【**新規採択事業一覧**】 (単位:百万円)

分類	事業名	予算額	総事業費 (見込み)
	都営住宅を活用した単身高齢者の見守りシステム構築・実証プロジェクト	13	31
-1/ 1 1 %	AIとIoTにより認知症高齢者問題を多面的に解決する東京アプローチの確立	30	490
誰もがいきいきと 活躍できる都市	大学と自治体、企業、NPOの協働による高齢者の福祉向上を目指した動物 との共生社会の実現と拠点形成		126
	児童相談所情報標準化・人材育成事業	20	98
安全安心で	世界トップレベルの地域医療を東京に構築する事業	19	131
住みやすい都市	市民科学プログラムによる都市型水害に備えるアイディアの実践	4	11
	合 計	116	887

#### ■ 職員による事業提案制度

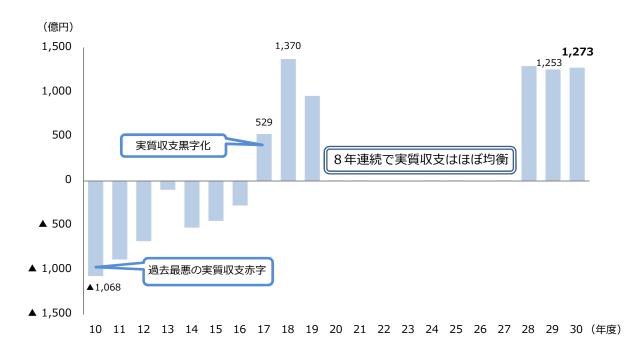
・「全国自治体の税務行政支援」など、4件を予算に反映しています。

## 第4章 決算分析

## 実質収支

- 都の実質収支は、平成10年度に1,068億円という巨額の赤字となりましたが、その後 財政再建に全力で取り組んだ結果、**17年度決算では黒字に転換**しました。
- ▼成30年度決算の実質収支は、1,273億円の黒字となりました。これは、都税収入の 増加に加え、基金を積極的に取り崩したことや、将来を見据えて無駄の排除を一層徹 底したことなどによるものです。

#### ■ 実質収支の推移(普通会計ベース)



#### ◆ 普通会計

・ 普通会計とは、各地方公共団体の財政状況の把握、地方財政全体の分析などに用いられる統計上、 観念上の会計で、総務省の定める基準をもって、各地方公共団体の会計を統一的に再構成したもの です。

#### ◆ 実質収支

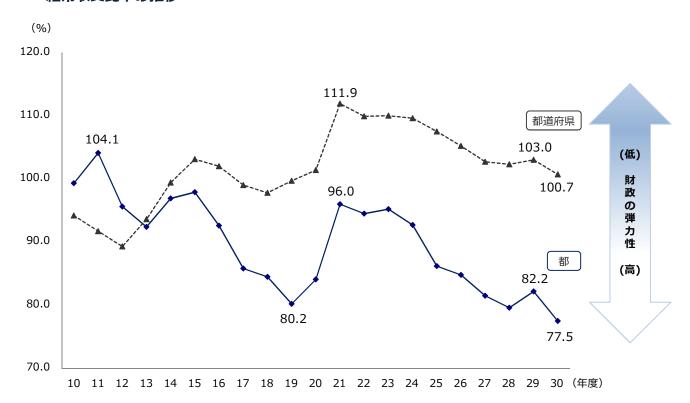
• 実質収支とは、歳入決算額から歳出決算額を単純に差引いた額によって求められる形式収支から、 翌年度へ繰り越すべき財源を控除した決算収支です。

実質収支=形式収支-翌年度へ繰り越すべき財源

## 経常収支比率

- 普通会計決算の指標に財政の弾力性を示す「経常収支比率」があります。
- 平成30年度における経常収支比率は、前年度の82.2%から4.7ポイント改善し、 77.5%となりました。
- これは、公債費の元金償還金が減少したことや、都税収入が増加したことなどによる ものです。
- 都道府県の平均値は、近年100%を超えており、**都は他の道府県に比べ、財政の弾力** 性が高い状況にあります。

#### ■ 経常収支比率の推移



#### ◆ 経常収支比率

• 経常収支比率は、歳出総額のうち経常的経費に充当された一般財源等の、経常一般財源等に対する割合です。

経常収支比率 = 経常的経費充当一般財源等÷経常一般財源等×100(%)

• 地方税などの経常一般財源等が、人件費、扶助費、公債費のような削減することが困難な経常的経費にどの程度充当されているかを見ることによって、財政構造の弾力性を判断する指標であり、比率が低いほど弾力性が高いことを表しています。

## 健全化判断比率等

- 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に従って、平成30年度決算に基づく健全化 判断比率等を算定した結果、全ての比率において基準を下回っており、都の財政が健 全であることを表しています。
- 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に定める比率(同法第3条及び第22条)

#### 健全化判断比率

財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための4つの指標の総称。 各指標は標準財政規模に対する割合で算出されます。

#### 実質赤字比率

(実質赤字額 [一般会計等] の割合) 早期健全化基準5.54% 財政再生基準8.58%

(実質赤字比率はありません)

#### 実質公債費比率

(地方債償還に要する一般財源等の割合[3か年平均]) 早期健全化基準25%財政再生基準35%

29年度	30年度
1.6%	1.5%

#### 連結実質赤字比率

(実質赤字額 [全会計ベース] の割合) 早期健全化基準10.54%財政再生基準18.58%

(連結実質赤字比率はありません)

#### 将来負担比率

(一般会計等で見込まれる将来負担の割合) 早期健全化基準400%財政再生基準 –

29年度	30年度	
12.5%	22.7%	

#### 資金不足比率

公営企業における経営状態の悪化の度合いを示す指標。 公営企業会計ごとの事業規模に対する資金不足額の割合で算出されます。 経営健全化基準20%

#### 全会計において -

(資金不足比率はありません)

- \* 資金不足比率の対象となる都の会計は、病院会計、中央卸売市場会計、都市再開発事業会計、 臨海地域開発事業会計、港湾事業会計、交通事業会計、高速電車事業会計、電気事業会計、 水道事業会計、工業用水道事業会計、下水道事業会計、と場会計の全12会計です。
- \* 標準財政規模とは、地方公共団体の標準的な状態で通常収入される経常的一般財源の規模を示すものです。
- \* 各指標には、早期健全化基準などの判断基準が定められており、いずれかがその基準以上となった場合には、財政健全化計画などを策定し、財政の健全化を図らなければなりません。

## 新たな公会計手法の活用

- 都では、平成18年度から複式簿記・発生主義による会計処理を導入し、この新たな公会計制度によって決算をまとめています。
- これにより、ストック情報、コスト情報及び現金の流れを分析し、より多面的に都財政の実態を示すことができるようになっています。

#### ■ 東京都の財務諸表(平成30年度決算)

#### ① 貸借対照表

貸借対照表は、3月31日現在(ただし、出納整理期間中の増減を含む。)における都の財政状態(資産、負債及び正味財産の状況)を明らかにすることを目的に作成しています。

<貸借対照表(普通会計)>

(単位:億円)

科目	30年度	29年度	増減額
資産の部合計	345,626	346,224	▲ 597
うち基金積立金	43,913	45,616	<b>▲</b> 1,703
負債の部合計	67,367	69,342	<b>▲</b> 1,974
うち都債	56,675	58,492	<b>▲</b> 1,816
正味財産の部合計	278,259	276,882	1,376
負債及び正味財産の部合計	345,626	346,224	▲ 597
資産に対する負債の割合	19.5%	20.0%	-

• 資産の部においては、基金積立金の減などにより、前年度末比597億円減少し**34兆5,626億円**となりました。負債の部は、都債の減などにより、同1,974億円減少し**6兆7,367億円**となりました。資産に対する負債の割合は**19.5%**であり、同0.5ポイントの減となっています。

#### ② 行政コスト計算書

行政コスト計算書は、発生主義により、一会計期間における都の行政サービス活動の実施に伴い発生した「費用」を認識し、その「費用」と財源である「収入」とがどのような対応関係にあるか、その差額はどうなっているのかを示し、行政サービスのコストを明らかにすることを目的に作成しています。

<行政コスト計算書(普通会計)>

(単位:億円)

			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
科目	30年度	29年度	増減額
通常収支の部			
収入合計	63,664	61,928	1,735
うち地方税	54,638	52,880	1,757
費用合計	56,477	56,255	222
うち税連動経費	14,218	13,850	368
通常収支差額	7,186	5,673	1,513
特別収支差額	<b>▲</b> 6,184	1,202	<b>▲</b> 7,387
当期収支差額	1,002	6,876	<b>▲</b> 5,874

• 当期収支差額は1,002億円となり、前年度に引き続き収入が費用を上回っています。このことは、基本的には当年度に提供された行政サービスの費用が当年度の税収などの収入によって賄われたことを表しています。当期収支差額は、民間企業の損益計算書における「当期純利益」に該当する項目で、正味財産を構成する項目の一部となっており、将来の財政需要への備えとなる基金積立金や、将来世代の負担の軽減となる都債の償還などに充てられています。

#### ③ キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、都財政における資金の流れを、「行政サービス活動」・「社会資本整備等投資活動」と、資金の調達、返済などを行うための「財務活動」に区分し、それぞれにおける現金収支の状況を示す目的で作成しています。

<キャッシュ・フロー計算書(普通会計)>

(単位:億円)

科 目	30年度	29年度	増減額
行政サービス活動			
収入合計	63,648	61,916	1,732
支出合計	54,531	53,500	1,030
行政サービス活動収支差額	9,117	8,416	701
社会資本整備等投資活動			
収入合計	8,834	5,965	2,869
支出合計	15,157	9,872	5,285
社会資本整備等投資活動収支差額	<b>▲</b> 6,322	<b>▲</b> 3,907	<b>▲</b> 2,415
行政活動キャッシュ・フロー収支差額	2,794	4,508	<b>▲</b> 1,713
財務活動			
財務活動収入	1,435	1,376	59
財務活動支出	4,101	4,902	▲ 800
財務活動収支差額	<b>▲</b> 2,666	<b>▲</b> 3,526	859
収支差額合計	128	982	▲ 854
前年度からの繰越金	4,768	3,786	982
形式収支	4,897	4,768	128

• 行政活動キャッシュ・フロー収支差額においては、収入が支出を**2,794億円**上回りました。財務活動収支差額は**2,666億円**の支出超過となっています。これらの収支差額合計に、前年度からの繰越金を加えた形式収支**4,897億円**は、繰り越すべき財源などとなって翌年度に活用されます。

#### 【参考】平成30年度 国の財務書類

<貸借対照表(一般会計・特別会計)>

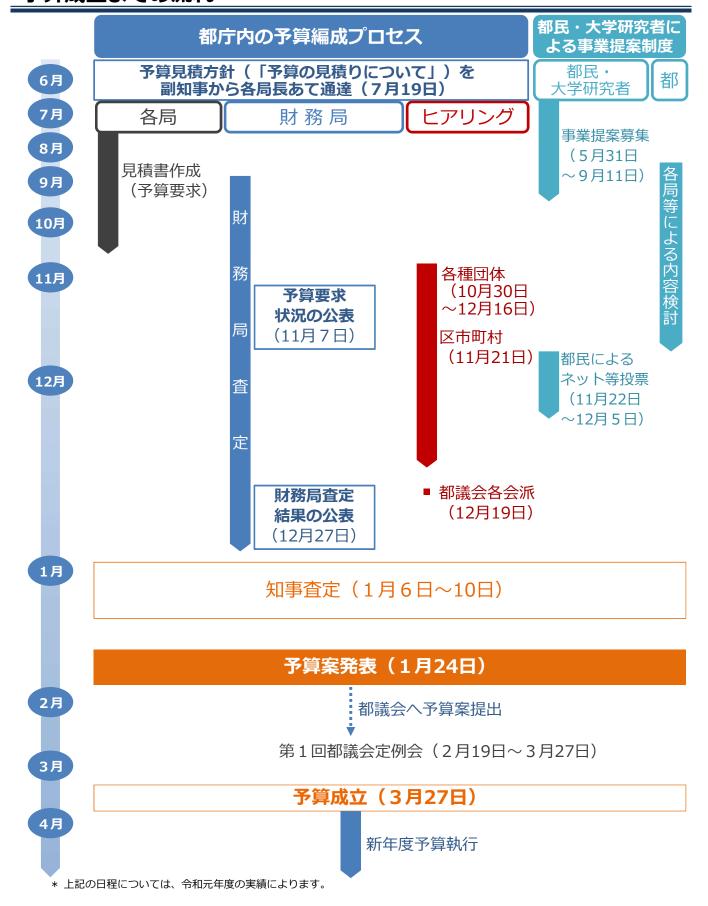
(単位:億円)

科目	30年度	29年度	増減額
資産の部合計	6,746,680	6,705,135	41,544
うち有形固定資産	1,843,818	1,824,526	19,291
うち有価証券	1,196,010	1,185,180	10,830
負債の部合計	12,580,247	12,388,753	191,494
うち公債	9,860,646	9,668,986	191,659
資産・負債差額の部合計	▲ 5,833,567	<b>▲</b> 5,683,618	<b>▲</b> 149,949
負債及び資産・負債差額合計	6,746,680	6,705,135	41,544
資産に対する負債の割合	186.5%	184.8%	_

• 国と都の貸借対照表を比較すると、平成30年度における資産に対する負債の割合は、国186.5%に対し、都は19.5%と低い水準になっています。

## 参考

## 予算成立までの流れ



## 財政広報の紹介

#### 予 算

#### ▶ 予算案の概要

新年度の予算案が固まり次第、予算案の発表に合わせて公表しているもので、歳入・歳出の状況、今後の財政運営、体系別に整理した主要な施策、事業評価など、**予算の全体像を概要としてまとめたもの**です。 <毎年1、2月公表>





#### ▶ 予算案まるわかりブック

新年度の**予算案を簡単に理解**できるよう、 わかりやすくまとめ、解説したものです。









#### ▶ 主要事業

新年度の主要事業について局別 にまとめたもので、前年度予算 と対比して示しています。

<毎年1月公表>





#### ▶ 予算概要

予算の成立を受けて、各会計の予算を一冊にまとめたものです。 <毎年4月頃公表>





## 決 算・財政のあらまし

#### ▶ 年次財務報告書

財務諸表を用いて、都全体の財務の実態をマクロ的な視点から分析したものです。

〈毎年9月頃公表〉





#### ▶ 主要施策の成果

法に基づき、会計別、局別に主要事業の成果をまとめたもので、予算、決算を対比して示しています。

<毎年9月公表>

平成30年度 主要施策の成果

東京都

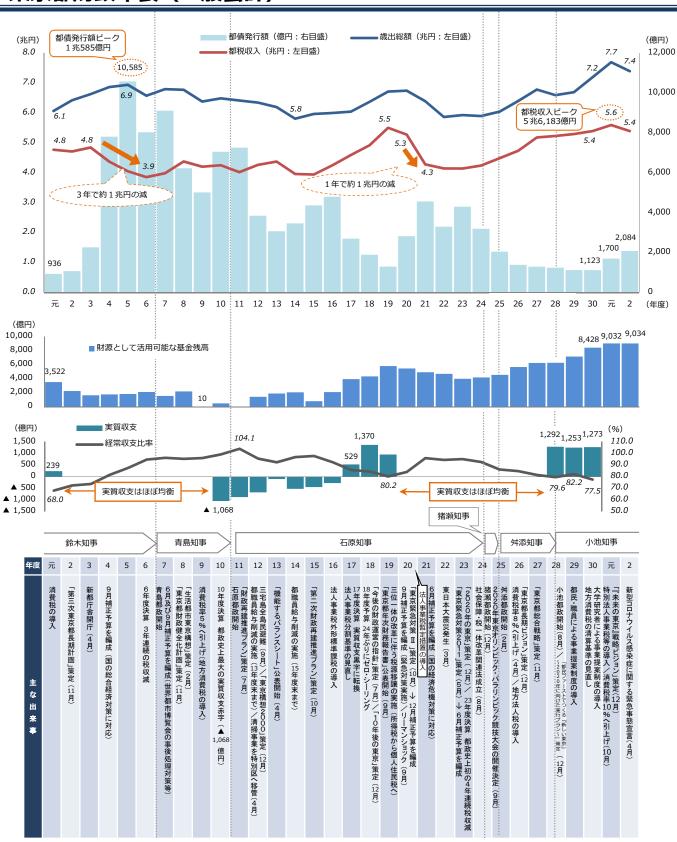
#### 財政のあらまし

法などに基づき、 財政の状況につ いて、年2回 (6、12月) 公表しているも のです。





## 東京都財政年表(一般会計)



- 平成30年度までは決算額、令和元年度は最終補正後予算額、2年度は当初予算額です。 都債発行額は、特定資金公共事業債(NTT債)を除いています。また、平成14年度から、都営住宅等事業会計分を除いています。
- 過去の基金残高についても、平成29年度からの新たな基金の体系に基づいて分類しています。 実質収支及び経常収支比率は、普通会計ベースの数値です。



東京都

東京都財務局は 東京2020オリンピック・パラリンピック の成功に向けて取り組んでいきます。